

2023年8月1日
イオン九州株式会社

農林水産省「温室効果ガス削減見える化」実証販売 熊本県産トッピングバリュ減の恵み ミニトマト

イオン九州株式会社（以下 イオン九州）は農林水産省と協力し、環境負荷低減の取り組みを星の数で表示した「温室効果ガス削減見える化」ミニトマトを2023年8月2日（水）より九州内（沖縄を除く）の「イオン」「イオンスタイル」にて実証販売いたします。「温室効果ガス削減見える化」に取り組む農場で収穫されたトッピングバリュ商品を販売するのは初めてです。

農林水産省では、「みどりの食料システム戦略」に位置付けられた持続可能な消費を推進する取り組みのひとつとして2022年9月に「温室効果ガス削減見える化」した商品の実証販売を開始しました。農業由来の温室効果ガスの削減には、化石燃料、化学肥料や化学農薬の削減等の環境負荷低減の取り組みが効果的です。こうした温室効果ガス削減の取り組みを行っている生産者の努力を的確に評価し、分かりやすく消費者に伝える取り組みとして、「温室効果ガス削減見える化ラベル」を使用して情報発信することで、消費者が地球環境に良い農産物を選択できる環境を整えていきます。

イオン九州はこの取り組みに協力し、温室効果ガスの削減を星の数で表示（見える化）した農作物として2023年3月に熊本県産トマト（城北トマト）を実証販売しました。

今回は販売するミニトマトは、熊本県のグリーンライフ熊本ミニトマト部会が温室効果ガス削減に取り組む大切に生産したものです。温室効果ガス削減率9.26%、削減量1479.6kg-CO₂e（農地面積10aあたり）を達成し、令和5年度温室効果ガス削減見える化実証事業において星1つを獲得しています※¹。また、トッピングバリュ「減の恵み」の基準※²にも適合した環境への負荷を低減した農作物です。



温室効果ガス削減見える化ラベル

イオン九州は事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指すという考えのもと、小売業を中心とする事業特性を活かし、オープンイノベーションによりさまざまな企業・団体と協力することで環境・社会の課題解決に向けたさまざまな取り組みを推進してまいります。

◆熊本県産トッピングバリュ減の恵みミニトマト 「温室効果ガス削減見える化」実証販売概要

販売商品：熊本県産トッピングバリュ減の恵みミニトマト
（グリーンライフ熊本ミニトマト部会）

販売期間：2023年8月2日（水）～2023年9月末予定

販売店舗：九州内の「イオン」「イオンスタイル」64店舗

※店舗により販売開始日が異なります。

※収穫量によって販売店舗や期間が変更になる場合がございます。



※1：令和5年度実証事業における星の数について

令和5年度の実証事業においては、地域の慣行農法を基に設定されている標準値（都道府県別又は地域別）と比較した場合の農地面積10aあたりまたは農産物10kgあたりの温室効果ガスの削減率が、5%以上は星1つ、10%以上は星2つ、20%以上は星3つとしています。

※2：トッピングバリュ「減の恵み」は農薬・化学肥料を極力抑え、環境への負荷を低減して生産された農産物です。

トッピングバリュ「減の恵み」の基準

①農薬・化学肥料を極力抑えて栽培された農産物であること

②トレーサビリティと衛生管理条件

①トレーサできる管理体制が確立されている

②GAPの考えに基づき衛生管理を行っている

※GAPとは…Good Agricultural Practiceの頭文字で、直訳すると「良い農業のやり方」で、「適正農業規範」や「農業生産工程管理手法」などと訳されている。農産物生産の各段階で生産者が守るべき管理基準とその実践のことで、食の安全、環境保全型農業、労働安全などにおいて、適切な農場管理の取り組みを言う。

③環境配慮要件

環境保全や生態系維持に配慮した取り組みを意識するように努めていること

ご参考

店頭表示POP

温室効果ガスを減らす おかいもの

イオン九州では、農林水産省と協力し、環境負荷低減の取り組みを、星の数でわかりやすく表示する「温室効果ガス削減見える化」実証を行っています。

令和5年度
温室効果ガス
☆☆☆
削減
農林水産省温室効果ガス削減見える化実証事業

熊本県産

ミニトマト
熊本県産

4 549741 422369

アンケートのご協力をお願いします。

イオン九州が取り扱う熊本県産トップバリュ減の恵みミニトマト(グリーンライフ熊本ミニトマト部会)は、温室効果ガス削減率9.26%、削減量1479.6Kg-Co2e(農地面積10aあたり)を達成し、★1つを獲得しています。

- ※農業の使用を最小限にとどめて栽培することで、CO₂を削減しています。
- ※たい肥の投入により、土壌に炭素を貯め、大気中に出るCO₂の増加をおさえています。
- ※農水省の温室効果ガス簡易算定シートにて算出し、各取り組みでのCO₂削減について確認しています。

以上